

学位論文審査の結果の要旨

山崎睦子

本研究は、高知県の重要な栽培品目であるニラとショウガに発生する土壌病害を対象として、発生生態の解明、病原の同定、検診技術の確立、制御技術の確立を試みた結果に関するものである。その結果、高知県の主要作物であるニラやショウガに発生し、収量や品質低下を引き起こす土壌伝染性病害（ニラ乾腐病、ニラ紅色根腐病、ショウガ疫病、ショウガ根茎暗斑病）について、発生状況調査、発生要因、病原菌の諸性質、発病好適条件および病原菌の伝染環等を解明するとともに、有効な防除法を明らかにした。さらに、ニラ乾腐病では、病原菌である *Fusarium oxysporum* の宿主特異性の解明と分化型の決定、分子系統解析、病原性関連遺伝子の検定、簡易診断技術の検討を行った。また、乾腐症状を示すニラから分離された *F. oxysporum* と異なる形態を示す *Fusarium* 属菌を *F. proliferatum* と同定し、新たな病原として登録した。また、新たな病害であるショウガ疫病、ショウガ根茎暗斑病について、病原菌を同定するとともに宿主範囲等を明らかにした。

また、その研究の成果は、日本植物病理学会誌および Journal of General Plant Pathology 誌において、それぞれ 2 報および 1 報の報文として公表されている。

以上のように、本論文は多くの新しい知見を有すること、論文内容や構成、および公表論文等から、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。